

令和2年度 専門学校デジタルアーツ東京

自己評価報告

令和3年3月31日

 専修大学 菅原学園

専門学校 デジタルアーツ東京

目 次

1. 学校の教育目標

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) . 教育理念・目標
- (2) . 学校運営
- (3) . 教育活動
- (4) . 学修成果
- (5) . 学生支援
- (6) . 教育環境
- (7) . 学生の受け入れ募集
- (8) . 財務
- (9) . 法令等の遵守

1. 学校の教育目標

本校は、学校教育法に基づく教育機関として、多様化、高度化し変遷する産業及び社会構造の変化に対応するデザインや音楽、演劇・情報技術（IT）・ビジネスの各分野に関する理論とその実践的応用の教授を行う。

かかる教育目的の実現により、国家、地域社会ならびに産業の発展に寄与する実務に即応できる人材と自由かつ創造性に富む人間の育成を使命とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の各分野の目指す業界動向を掴み、カリキュラムや教育指導に迅速に取り入れ就職に結びつける。「学内コラボレーション」をより進め、クリエイター・アーティストとしての発想や創造性を豊かにしていくと共に企業との連携による実務体験やインターンシップを通じプロデビューや就職を達成していく。

このような専門教育と並行し人間力の向上として、「挨拶」から始まる社会人としてのルールやマナー・職場におけるコミュニケーション能力を指導する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) . 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

現場の声を取り入れられるよう各業界との連携を密に取り、より実践的な経験をさせるため企業とのコラボレーションを推進しているが、コロナ禍の影響で学科によって企業連携に制約が生まれてしまっている。

② 今後の改善方策

実際に現場で体験するオフラインの企業連携だけでなく、オンラインでのセミナーを通じて職業意識を向上させることや企業連携をオンラインで実施できる方法も検討していきたい。

③ 特記事項

毎年11月に開催され関連業界や保護者・学生、近隣に対し本校の教育内容を発信するイベント「DATフェスタ」は新型コロナ感染予防のためやむなく中止といたしました。令和3年度に関しては感染対策を徹底し実施したく検討してまいります。

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切におこなわれているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

第一に新型コロナウイルス感染防止に努めながら授業時間数を確保すること、第二に学生や教職員の安全にかかわる対策を調えることを課題として取り組んだ。

② 今後の改善方策

オンライン授業に切り替えが可能な学科について緊急事態宣言中は週2日から3日在宅学習に切り替えた。今後の感染状況によるが、その他学科についても緊急事態に備え授業の方法についても検討していきたい。

③ 特記事項

体調不良者を早期に把握し出席停止等の手当てをすることで、学内のクラスターに繋がらないよう努めた。陽性者は数名出たが、同学科やクラス内で複数名が感染することは無く、最小限の影響で納めることができた。

(3) . 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

（業界のニーズに沿うよう実践的なカリキュラム、シラバスを作成し、学生個々のレベルアップに繋げている。ただし、キャリアに対する意識が低い学生も増加しており、職業意識を植え付ける難しさも感じている。）

② 今後の改善方策

（企業と連携し特別講座等を開催、最先端の技術を学ぶとともに、各業界でのキャリアの進め方を理解させ職業意識の向上に努める。また、ビジネスマナーを身につけることで社会での実践力を磨いていく。）

③ 特記事項

1月末コロナ禍の中ではあったが、嚴重に感染対策を施し「声優学科卒業公演」を実施した。最小限の観客にする等の制約はあったものの、声優学科としての集大成として毎年開催している行事で、無事開催することができたことは良かった。

(4) . 学修成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

学科により就職率の差が大きい。業界の特性からフリーランスとして職に就くケースもあり、就職率だけで測れない部分もあるが、学生や保護者が結果に満足できるよう指導していく必要がある。

② 今後の改善方策

進路就職を取りまとめるキャリアサポートセンター担当教員を増員。求人企業対応や求人票の閲覧の迅速化を進めている。

③ 特記事項

コロナ禍により就職活動が難しい状況ながらアニメ学科では、大手企業からの内定を獲得する等、例年通り高い就職実績を実績を出すことができた。

(5) . 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

新型コロナウイルスが新卒採用等、求人状況がどのような影響を与えるのか注視しながらの進路指導となると考えられる。例年以上に厳選採用を行う企業の増加も予想されるため、スキルやコミュニケーション力の向上を徹底指導する必要がある。

② 今後の改善方策

常に業界とのパイプを大切に定期的な連絡や訪問等を通じて動向を捉える事が大切である。このため各学科では、講師との意見交換及び企業訪問、学内での説明会等様々な機会を通じて情報交換に努め業界の求めている知識や技能を研究する。

③ 特記事項

精神的に不安定な状態で入学を迎える学生も見られる。今年度よりスクールカウンセラーを増員し、より手厚い対応が可能となった。中途退学者をできるだけ出さないよう担任と協力し対応していきたい。

(6) . 教育環境

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

学内各教室のオンライン授業対応は進めているが、学生の自宅での環境は、対応するW i F i環境やパソコン、ソフトが用意できない等の問題がある。特に留学生の環境は、脆弱で、学生によってはしっかりと受講するのが難しい状況である。

② 今後の改善方策

通信環境が脆弱な学生に対しポケットW i F iを貸与することや学内のW i F i環境を整えて、安心して授業が受けられる体制を整備していきたい。

③ 特記事項

令和3年4月以降、実習教室ではネットワーク高速化を図るために機材の入れ替え、普通教室においては全教室オンラインでの授業に対応できるよう配線工事を行うことになった。

(7) . 学生の受入れ募集

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝わっているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

学生募集を行う上では入学希望者に対し「体験入学」「学校説明会に来校してもらうことが大切であるが、コロナ禍の中でどのように参加者や教職員の安全を確保しながら実施していくかの対策が重要である。

② 今後の改善方策

1回あたりの参加者数の上限を設ける等ソーシャルディスタンスに配慮した形式で実施するとともに、オンラインでの学校説明会や個別での相談の受付等、さまざまな形での募集活動を行っていく。

③ 特記事項

〔 高校で行われる進路ガイダンスもオンラインでの開催が増加。説明する相手のことが対面に比べ分かりづらい分、事前準備が重要である。学校を理解してもらえるような資料作りに力を入れて対応している。 〕

(8) . 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

〔 特になし。 〕

② 今後の改善方策

〔 財務に関する情報は、ホームページ上に情報公開している。今後も必要に応じてホームページ上に情報公開していく。 〕

③ 特記事項

〔 特になし。 〕

(9) . 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

〔 特になし。 〕

② 今後の改善方策

〔 特になし。〕

③ 特記事項

〔 新型コロナウイルス感染拡大防止の休校要請に従い対応した分については、長期休暇期間や休日を授業に充てることで年間授業時間数を確保した。〕